



各 位

2026年7月2日

サボベジ

次世代野菜「SABOVEG」が“食べ過ぎ防止”をサポート！

食用ウチワサボテンを用いた食欲抑制用途に関する特許を出願

健康的な体重管理をサポートする新たな食品素材として期待

綿半トレーディング株式会社（東京都新宿区 代表取締役社長：岩元 剛）と藤田医科大学発『腸活啓発ベンチャー』株式会社バイオシスラボ（愛知県豊明市）は、食用ウチワサボテン「SABOVEG」に関する共同研究において、「満腹感の持続」「空腹感の緩和」および「食欲抑制」に関する新たな知見を得たことから、このたび食用ウチワサボテンの「食欲抑制用途」に関する特許を出願しました。



※画像はイメージです。

【実証試験で確認された満腹感維持への可能性】

研究チームは、成人女性 17 名を対象としたクロスオーバー試験を実施しました。被験者には食用ウチワサボテンを配合した飲料と対照飲料をそれぞれ摂取していただき、摂取後 3 時間にわたり満腹感や空腹感などを評価しました。その結果、サボテン摂取群では対照群と比較して満腹感が長く持続し、空腹を感じにくくなる傾向が認められました。また、食欲および摂食欲求に関する指標においても抑制傾向が確認されました。

これらの結果から、食用ウチワサボテンは「満腹感の維持」に寄与し、食事量のコントロールや間食の抑制をサポートする可能性が示されました。

【健康的な食生活を支える新たな可能性】

近年、肥満対策や生活習慣病予防への関心が高まるなか、過度な食事制限に頼らず、自然な満腹感を活用して食生活の改善を目指すアプローチが注目されています。

食用ウチワサボテンは、豊富な食物繊維やミネラルを含むだけでなく、乾燥地域でも栽培可能な環境負荷の低い作物として知られています。また、国連食糧農業機関（FAO）においても、将来の食料資源として期待される作物の一つとして紹介されています。

今回の特許出願は、食用ウチワサボテンの新たな健康価値を示す研究成果の一つです。今後は、機能性表示食品や健康食品、飲料、サプリメントなどへの応用可能性について検討を進めるとともに、さらなる科学的エビデンスの蓄積に取り組んでいきます。

【コメント】

綿半トレーディング株式会社 代表取締役社長 岩元 剛

「SABOVEG は環境にも人にもやさしい次世代野菜です。今回の研究成果は、食用ウチワサボテンが持つ健康価値をさらに広げるものであり、多くの方の健康的な食生活に貢献できる可能性を期待しています。」

株式会社バイオシスラボ 代表取締役社長 栃尾 巧

「食欲のコントロールは健康維持において重要なテーマの一つです。今回の研究により、食用ウチワサボテンが自然な形で満腹感の維持に寄与する可能性が示されました。今後も科学的根拠に基づく研究を継続し、食用サボテンの新たな機能性の解明に取り組んでいきます。」

※本リリースは特許出願中の技術に関する内容を含みます。記載内容は研究結果に基づくものであり、特定の疾病の診断、治療または予防を目的とするものではありません。

【本件に関するお問合せ】

綿半トレーディング株式会社 企画営業部

住所 東京都新宿区四谷 1 - 4

T E L 03-3353-2303 M A I L planning@watahan.co.jp